

「Nーバス昼間帯再編案」についてのパブリックコメントの実施結果

「Nーバス昼間帯再編案」を策定するにあたり、町民の皆さんからご意見をいただくためパブリックコメントを実施しました。
次のとおり結果を公表します。

- 1 意見募集案件名
「Nーバス昼間帯再編案」
- 2 募集期間
平成21年5月1日(土)～平成21年5月31日(日)
- 3 閲覧場所
役場西庁舎1階行政情報コーナー、安心安全課、町ホームページ
- 4 募集結果
6名、11件、10意見
- 5 提出された意見及び意見に対する町の考え方

	意 見	町の考え方
1	再編案は、現行より、便利になっており長久手町の発展につながる。	今回の再編成にあたり、住民の皆様に対してNーバス利用実態調査を実施し、住民や利用者の皆様のご意見をお聞きし、住民のニーズに対応した、効率的な路線やダイヤに再編しました。
2	再編案は、ルートがわかりやすく利用しやすくなる。双方向が出来たことは、素晴らしい。	今回の再編成にあたり、住民の皆様に対してNーバス利用実態調査を実施し、住民や利用者の皆様のご意見をお聞きし、住民のニーズに対応した、効率的な路線やダイヤに再編しました。
3 (2 件)	三ヶ峯地区から役場への直行便が必要。	路線名は、替わりますが、出来る限り乗り降りの手間がなくなるよう同一車両で役場まで行ける車両運用に努めます。
4	三ヶ峯線の便数の増加。	今回の再編成は、現在保有する4台の車両で運行本数の充実、双方向の運行区間を増やすこと、ルートをわかりやすくすることに加え、利用実態から利用の少ないルートやバス停は廃止を含めて検討しました。 運行本数については、限りある車両を各路線の特性に合わせて配分しました。

5	三ヶ峯線の乗り継ぎ、待ち時間が長い。	乗り換えポイントにおける待ち時間は、可能な限り短くなるダイヤ編成に努めます。
6	利用者、未利用者の要望事項の集積が必要。	日頃からの利用者の皆様の声に加え、昨年Nーバス利用者約800人と一般住民4,000人を対象にNーバス利用実態調査を実施し、その結果を踏まえ再編案を作成しました。
7	路線体系のスリム化を図ること。	今回の再編案は、Nーバス利用実態調査結果を踏まえ、重複走行区間を少なくしたり、ルート of 走行地域を明確にしたり、1路線当たりの距離や走行時間を短くするなどスリムで効率的な路線にしました。
8	役場での乗り換えを強要しない。	今回の再編案では、「役場」「福祉の家」「杵ヶ池公園駅」を乗り継ぎポイントとしております。「役場」では5路線に、「福祉の家」「杵ヶ池公園駅」ではそれぞれ3路線に乗り継ぐことができ、より利便性が向上するようにしました。
9	長久手町は、東から西への需要が多いため、東西を結ぶ線を軸として、右回り、左回り運行とし、利用者の利便性を高めること。	再編案は、長久手町の公共交通体系としての役割を含め、住民のニーズに対応し、効率的でかつ利便性を考慮して再編しました。
10	「栢木」バス停を廃止しない路線で再編してほしい。	最寄のNーバスのバス停までの距離や道路状況などの実態を考慮し、ご意見の内容につきましては、路線の延伸に伴う所要時間も増えることから運行本数も含めて検討します。